

一般質問

6月15日から19日の5日間にわたり、34名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



介護、学校統廃 合、まちづくり



大野まこと(日本共産党)
〇 老老介護の実態を把握し、市の財政支援で介護人材確保のための待遇改善を。
いきいき生活部長 都は居住支援特別手当事業、宿舍借上支援事業を実施しています。市では、活用を促す周知に努めているところで、独自の支援を行う考えはありません。
〇 住民合意のない小山田小学校と小山田南小学校の統合は中止すべき。
学校教育部長 引き続き、様々な立場の方々にお話を伺い、丁寧に進めていきたい。
〇 渋滞解消、信号設置など小山田、小山ヶ丘のまちづくりをどう進めるか。
道路部長 渋滞については、引き続き、関係者間で対策の検討や実施、検証などを行っています。信号機の設置について、市としてできることは、地元からの設置要望を警視庁に申し伝えることです。



災害対策・子ども の熱中症対策



松葉ひろみ(公明党)
〇 災害時のために、市庁舎のエレベーターに簡易トイレや飲料水を備蓄した「防災キャビネット」を設置しては。
財務部長 有効性は認識しているところです。設置については検討を進めていきます。
〇 八王子市の動向も踏まえ、民有地擁壁改修への補助制度を検討してはどうか。
都市整備担当部長 八王子市を含めて、ほか自治体の動向を注視していきます。また、国や都を含め補助制度に関する資料収集を行っていきます。
〇 学校に、ネッククーラーを冷やす冷凍庫や冷水器の設置を検討しては。
学校教育部長 冷水器は、新たに整備する学校において計2か所に設置を予定しています。冷凍庫は、先行して取り組んでいる他自治体において、設置費用、効果等の詳細を早めに把握していきます。



健康／里山 ヘルス／縄文



ふじた学(諸派)
〇 「治す医療」から「支える医療」へ。心と体の健康まちづくりのビジョンは。
市長 健康に向かう一人一人の自発的な意思と行動をみながら見守りこれまで以上に心と体の健康を支え合えるまちづくりを進めてまいります。
〇 北部丘陵小山田エリアで、地域や民間事業者と連携して、「ワンヘルスの森」町田里山モデルの構築を。
北部・農政担当部長 20年度に基本構想を策定しました。26年度に実施する実証実験イベントは、基本構想に基づいて、里山に関わっていただきたい方々にも参画していただき計画を立案し、実行予定です。
〇 町田の誇る考古(縄文)資料を未来と世界へ紡ぐ。
生涯学習部長 まっくろを活用した取組を進めており、今後も、考古資料の市内外への情報発信に努めていきます。



子どもの心 に寄り添う市政を



細野龍子(日本共産党)
〇 ナフサ由来製品の不足で影響を受ける事業所への緊急支援を求めるがどうか。
経済観光部長 現在、国の臨時交付金を活用した給付金を交付する事業を実施しています。今後については、国や都の動向を注視していきます。
〇 都制度を活用して、食事も提供できる中高生の居場所を設置すべきがどうか。
子ども生活部長 都制度の詳細はまだ示されていません。しかしながら、既に子どもセンターが居場所としての役割を担っていることから本制度の活用は考えていません。
〇 せりがや会館の廃止によって、活動を中止する団体が出ないよう、支援すべきがどうか。
地域福祉部長 引き続き、各団体とはより緊密にコミュニケーションを取りながら、支援の方法を考えていきたい。



武道を学べる 代替施設の確保



吉田つとむ(無所属)
〇 町田市立総合体育館の改修工事で施設が長期間使えない状態になるが、畳の部屋や武道場は他にない、その代替場所や手段はどのように考えているか。
文化スポーツ振興部長 まずは関係団体等に利用状況を伺いながら、大会開催や日常使いなどの条件も含めて、よく整理をして柔軟に会場、代替施設の確保については努めています。
〇 中核市の災害相互応援協定のチーム編成が遠隔地の都市相互で構成されているが、非中核市の町田市の体制は。
防災安全部長 市が締結している協定では、直接相互に応援と支援が可能で、迅速かつ円滑に対応できると認識しています。いろいろと都道府県から要請が来ますので、どういう形になるか吟味し、派遣制度にのっとっていききたい。



平和教育・不登校・国家情・報局



渡辺さとし(まちなみらい)
〇 「教育の推進」を掲げる市長の平和教育・学習についての認識は。
市長 平和教育や平和学習を継続的に行い、戦争の悲惨さを語り継いで、失われた命の貴さと平和の大切さを次世代へ継承していくことは非常に重要だと考えております。
〇 学校に行きづらいと感じている不登校児童生徒数の現状と市の政策の相関をどのようにつまみ食いしているか。
教育長 25年度は24年度に比べ、小学生23人、中学生が106人減少しました。学びの場の確保に取り組んだ成果が現れていると考えています。
〇 国家情報局からの求めにに応じて、市は市民の個人情報を提供することがあるのか。
総務部長 市民の権利、利益の保護と公益性の観点から、保有個人情報提供を法令に基づき厳格に取り扱っていきます。



学校の図書指導員 の待遇改善を！



うつのぶこ(諸派)
〇 町田市の学校図書指導員制度を見直し、学校司書を配置すべきではないか。
指導室長 図書指導員に無理なく、意欲を持って継続していただけるよう、適正な活動内容や活動時間について各学校に周知していきます。学校司書は、必要な人材を安定的に確保していくことは容易ではないと考えています。
〇 町内会・自治会の加入促進に向けた行政の支援は。
市民部長 加入促進策として広報まちだや市ホームページによる呼びかけ、チラシの配付のほか、まちカフェ！など、様々な機会を捉えて加入の呼びかけを行っています。
〇 町田市の駅周辺のごみのポイ捨て対策について。
環境資源部長 条例に基づき、5つの駅周辺を美化推進重点区域に指定し、美化推進員が巡回啓発を行っています。



もつと笑顔あふ れるまちづくり



ばんないさき(無所属)
〇 ベビーシッター利用支援事業について導入する考えはあるか。
子ども生活部長 他自治体の状況、サービスの提供体制などを改めて確認するとともに、次年度以降の保育ニーズに対する受皿の確保状況などを踏まえ研究していきます。
〇 町田市立国際版画美術館の文化的価値とは。
堀副市長 見る、作る、発



訪問医療・介護 従事者処遇改善



森じゅん子(公明党)
〇 医療と介護の連携支援センターは、どのような支援を行い、関係機関との連携強化に取り組んでいるのか。
いきいき生活部長 専門的な助言など、後方支援の役割を担っています。市民等から寄せられる相談に幅広く対応することで、地域医療と介護の連携強化を図っています。
〇 介護職員における人材不足の現状認識は。
いきいき生活部長 現在、専門職の皆様には都の相談窓口をご案内しています。



鶴川駅急行停車 ・家賃



はせがわ圭亮(無所属)
〇 長年、市として鶴川駅急行停車を求める声に対し、鉄道事業者にどのような要望をしてきたのか。
都市づくり部長 鶴川駅の急行停車のほか、ホームドア整備や踏切解消等、様々な要望を小田急電鉄株式会社に対し、速やかに伝えてきました。
〇 町田リス園のリニューアルについて、運営法人や保護者から合意が得られているのか。
経済観光部長 25年6月に、運営法人から、指定管理者制度導入等について現時点では同意できない旨の意見書が提出されました。現在に至るまで、合意は得られていません。
〇 市内団地における若者向け家賃支援の取組は。
都市づくり部長 JKK東京では割引制度を設け、該当団地の対象期間内に毎月の家賃が20%割引されるものです。



リニア／読書 慣／アライグマ



小野寺まなぶ(公明党)
〇 小山地区とリニア新駅が開業する橋本駅周辺を結ぶ道路網について、交通ネットワークの強化が課題であるが。
堀副市長 小山の魅力を最大限に引き出すとともに、相模原市が進めるまちづくりとの相乗効果を創出するために、広域的道路ネットワーク形成による連携強化が不可欠です。
〇 読書習慣を定着させる。
環境資源部長 25年度に事業対象を拡充したところで、すぐの対応は難しい状況ですが、ご意見として承ります。



市制施行70周年 に向けて！

若林章喜 選ばれる町をつくる会

市制施行70周年を記念する事業を実施する考えは。

市長 記念式典を実施したいと考えておりますが、現時点ではどのような形にするかは決まっております。レガシーとして残るような特色のある周年事業にしていきたい。

市民と一緒に考え、つくり上げる70周年事業について、どのような実施体制を想定しているか。

政策経営部長 庁内の部署間の垣根を越えた連携体制が重要と考えています。

ふるさと納税制度を活用し、大学や学校法人との連携・支援を求める。

政策経営部長 大学等との取組を知っていただくこと、応援したいと思っています。

方々の支援を大学などへ届けることについては、どのような取組が可能か、他自治体の事例も参考に検討していきます。



ごみ資源化／ 多摩モノレール

小沢タケル(農農自衛隊)

ごみの減量と資源化に向けた子どもたちへの環境教育について。

循環型施設担当部長 持続可能な社会の実現に向けて自ら考え、行動する力を育むため、ごみの減量や資源化について学ぶ出前講座と町田市バイオエネルギーセンターでの施設見学を実施しています。

講座や見学で学んだ子どもたちが家族の中の先生役になった。

てほしいと考えています。

多摩都市モノレール町田方面延伸事業について。

掘副市長 多摩地域の公共交通を充実させるとともに、市内の移動の利便性を高める基幹交通としての役割を担う重要な取組です。市民の皆様が安心して快適に住み続けられる町であるために、また、多くの来街者が訪れ、にぎわいと交流が生まれ続ける町であるために不可欠な事業です。



学校給食で地域 文化の継承を

岩瀬和子(選ばれる町をつくる会)

学校給食を通して地域食文化の継承を提案する。

学校教育部長 給食には、まち☆ベジをはじめ、市内業者が製造するしょうゆや食肉加工品を使用しています。各小学校や中学校給食センターでは、食育情報を見学生徒や家庭に向けて発信しています。

今後も食育の観点でも地域の食材について理解を深めてもらえる取組を行っていきます。

国山、図師、小山、小山ヶ丘の計17クラブです。

夏休みの児童クラブの昼食支援の充実を提案する。

子ども生活部長 26年度のモデル事業は、鶴川エリア中学校給食センターに加え、町田忠生小中学校給食センターを活用し、実施します。実施する児童保育クラブは、25年度に実施した7クラブに加え、野津田、なかよし、小山田、木曽、山崎、桜の森、七



ICT救急搬送 ・難病患者支援

馬部ゆきまさ(公明党)

救急搬送において、電話や手書きによる現状の救急情報伝達に課題はないのか。

市民病院事務部長 電話で聞き取った内容、救急搬送票の再確認を行っており、伝達ミスが発生する可能性は低く、現状もしっかりと受入れが行っているものと考えています。

静岡市のようなインクルーシブ雇用の推進を町田市として取り組んではどうか。

地域福祉部長 事業の内容や対象となる方など詳細を把握していませんので、しっかり情報収集に努めていきたい。

難病患者が在宅生活を継続するための住宅改善費の支給や日常生活用具の給付の活用についての市の現状は。

地域福祉部長 手帳をお持ちでない難病のある方の申請は住宅設備改善費1件、日常生活用具給付26件で支給に至らなかった件数はありません。



エアコン補助／ 遠隔手話通訳

田中みほ(日本共産党)

低所得世帯等のエアコン購入費助成事業において、購入の際に費用を最初に用意できないケースへの対応は。

地域福祉部長 手持ちのお金がない方は、立替払いではなく、助成金を店舗に振り込むことも可能です。その場合、申請者が店舗に相談いただき、市から代金を振り込むことを了承いただくことが必要です。

市の窓口での遠隔手話通訳サービスの提供について。

通訳サービスの検討状況は。

地域福祉部長 複数の端末からアクセスがあった場合の対応や音声認識の精度、文字変換などの機能について、ヒアリングを事業者に行いながら進めているところです。

市役所本庁舎以外の地域の行政窓口での導入も想定しているか。

地域福祉部長 市庁舎以外においてもサービスの提供することを想定しています。



町田のクマ対策 備えを万全に！

おげき重太郎(農農自衛隊)

クマ出没時の初動対応マニュアルが必要と考えます。

環境資源部長 緊急銃猟のマニュアルについては整備する必要がありと認識しております。関係機関と調整を進めています。作成については、今年度中をめどに進めています。

関係機関と連携した訓練が必要と考えますが、実施の考えはありますか。

防犯安全部長 総合的な訓練については、マニュアルの完成を待って実施したい。一方で6月下旬を目標に南大沢警察署と合同で、警察による熊の駆除訓練を行う予定です。

市民の安全を確保するために部署を越えた全庁的な取組が必要と考えますが、市の見解をお聞かせください。

神蔵副市長 全庁、庁内全ての部署が情報共有し、役割に基づいて連携し対応します。



妊婦への育児支援 ／母乳バンク

イスレスつばさ(まちだみらい)

妊婦への育児支援サービスの提供についてどのような情報収集に努めているのか。

保健所長 妊婦面接の際に、支援が必要な方にはニーズに合った情報を提供し、町田市子育てハンドブック「ぶれびよ」をお渡ししています。

多胎児への育児支援サービスの提供についてどのようなものがあのか。

保健所長 多胎児を妊娠中の妊婦及び多胎児とその保護者を対象にそらまめの会を実施し、実体験を聞いたり、情報交換ができ、不安を相談したり、出産後をイメージいただける機会となっています。

母乳バンクについて市の取組と広報の現状はどうなっているのか。

保健所長 妊婦面接の際、両親学級の会場のほか、健康福祉会館にチラシを設置するなど広く周知を行っています。



夏期学校プール 開放を求め！

渡辺聡太郎(選ばれる町をつくる会)

消防団員数の減少を誰が止めるのか。市は確保の責務を自覚し、取り組まなければならない。

防災安全部長 地域防災力維持に際しては深刻かつ速やかな対応を講じるべき喫緊の課題と認識しています。プレスリリースなど、これまで以上に活動を発信していきます。

また、庁内連携により、新たな取組も検討していきます。

職員をはじめ市民が理解と関与を促すことが重要です。

心を深め、新規入団者の増加及び定着率向上につなげるよう全力で努めていきます。

夏期学校プール開放事業が廃止される。条例では子供に影響を与える施策を決める際、子供の意見を聴き反映させる事が行政の責務とされている。条例に則り子供たちの意見を聞く場は設けたか。

文化スポーツ振興部長 端的に答えさせていただきます。場は設けていません。



断られないサー ビス等利用計画

今村るか(まちだみらい)

市長がインクルーシブな社会を目指す思いを伺う。

市長 心の教育を通じて、子どもたちがお互いを認め合い、他者への思いやりを大切に、様々な人と共感しながら学びを重ねることが、誰にとってもやさしいまちを実現していくために非常に重要なことだと捉えております。

障がい者総合支援法に基づくサービスの利用に必要なサービス等利用計画が作成されてもならないとの声が多い。

地域福祉部長 事業所を対象に連絡会等にて新たに開始し、規模を拡大していただくようお願いをしているところです。

26年度から、相談支援力向上の研修などを開催しており、相談の効率化や計画相談件数の増加を目指していきます。



物価高騰対策の 生活者高騰支援給付

松岡みゆき(無所属)

物価高騰対策生活者支援給付A4案内は解りづらく未申請者が多く51500世帯に再発行した。恒例の定形長3で送るべきではなかったか。

地域福祉部長 問合せは5月31日時点で2万7000件寄せられています。目立つデザインを重視し、A4サイズとしました。総括を適切に行い、事業運営へつなげていきたい。

食品ロス削減のため、飲食店での食べ残しの持ち帰りを、どのように進めるのか。

環境資源部長 motive CO普及コンソーシアムに入会を予定しており、協力店には市が購入した環境負荷の低い持ち帰り容器を提供します。

中心市街地・モノレール推進担当部長 十分な比較検討を行った上でルート決定に至ると考えています。



全ての子どもを 保障

笹倉みどり(まちだみらい)

「遊び」は子どもの権利。冒険遊び場事業補助金減額について市の考えは。

子ども生活部長 配置人数や開催日数など、活動団体が弾力的な運営ができるよう要件を緩和したものです。団体が継続して安定的に運営できるよう支援を行っていききたい。

多様性を生かした多文化共生、多文化共創社会の実現に向けた市と町田国際交流センターの役割の方向性は。

文化スポーツ振興部長 施策の方針を明確にし、市と町田国際交流センターとの間で支援体制や運営の在り方について検討を進めています。



多文化／ 選挙啓発

前田げんき(選ばれる町をつくる会)

多文化共生の理想と現実、本市の基本姿勢について。

文化スポーツ振興部長 日本人と外国人の双方が不安なく生活できる地域社会の実現を目指していくことを基本姿勢として、外国人住民の生活実態やニーズを的確に把握し、必要な支援を効果的かつ持続的に提供していきます。

市営住宅における兄弟姉妹での同居許可要件の柔軟な運用について。

都市づくり部長 許可要件に基づき兄弟姉妹等の同居について柔軟に運用しています。

若者への主権者教育とデジタルツールを活用した選挙啓発について。

選挙管理委員長職務代理者 要望のあった学校に向いて講座や模擬投票を行っています。市のホームページ、公式LINEのほか、Xを活用した選挙啓発を行っています。



本町田ひなた小
前歩道に木陰を



殿村健一（日本共産党）

本町田ひなた小前の街路樹が伐採された。猛暑から児童を守るため、植樹や屋根設置、日傘貸出しの対策を。

道路部長 29年度に植樹工事を実施予定です。上屋の設置予定はないと伺っています。

学校教育部長 日陰がないバス停や通学路は市内各所にあることから、日傘の貸出しを行うことは考えていません。

中心市街地・モノレール推進担当部長 シネマコンプレックスが最もニーズに適合した施設であると考えています。

画は、公園や国際版画美術館、市立博物館の在り方を、原点に戻り見直すべきだが。

文化スポーツ振興部長 具体的な事項はいただいたご意見などを見や今後いただくご意見などを基に検討を進めていきます。



町田の農業／安
全な歩行者空間



加藤真彦（自由民主党・日本維新の会）

10年先の町田市の農業についてどのようなビジョンを持っているか。

堀副市長 第5次町田市農業振興計画では、地産地消の推進を基本理念とし、市内産農産物の消費拡大、生産量を増やす、農地を活用して保全するの3つを基本目標とする予定です。目標に向けた取組が、次の取組を誘発する好循環を生み出し続けることで、

道路部長 今後、経年劣化による破損を抑制できる看板の導入を進めていきます。

道路部長 今後、経年劣化による破損を抑制できる看板の導入を進めていきます。

道路部長 今後、経年劣化による破損を抑制できる看板の導入を進めていきます。



保育量の確保／
体操着登校許可



矢口まゆ（諸派）

待機児童への代替サービスが必要。都のシッター助成実施自治体へ、課題だけでなくメリットも聞き検討を。

子ども生活部長 ほかの自治体の状況、また事業者によるサービスの提供体制などを改めて確認していきます。

夏季の体操着登校が許可されていない中学校3校に

指導室長 3校においても、

識しています。



不登校支援／町
内会等地域支援



おんじょう由久（公明党）

国や都の制度を活用し、不登校による給食非喫食者への補助を行うべきだが。

学校教育部長 市では、アレルギー、疾病、宗教上の理由のほか、新たに不登校を対象とする方向で制度及び運用の見直しを検討していきます。

町内会活動の負担軽減や補助金活用を拡げるための伴走型支援が必要だが。

市民部長 26年度から、G

市民部長 26年度から、G

市民部長 26年度から、G



児童虐待対応及
び継続支援体制



新井よしなお（無所属）

報道された市内の児童虐待事案を受けた市の課題認識は。

市長 今後、同様の事案が生じることがないように、児童相談所と一層の連携を図り、児童虐待への対応を実施してまいります。

虐待対応を終えた家庭への継続的な見守り制度はあるのか。

子ども生活部長 引き続き強化に努めていきます。

子ども生活部長 引き続き強化に努めていきます。

子ども生活部長 引き続き強化に努めていきます。



次世代に優しい
まちづくり



友井和彦（諸派）

国内・海外留学制度創設に対する市長の見解を問う。

市長 今後しっかりと検討をしていきたいと思っておりますが、ここで明言はできません。

一般利用と同等に扱われている青少年健全育成団体の施設利用料金の見直しを。

財務部長 個々の施設で利用状況は異なりますので、そういう状況で踏まえた上で、

あると考えています。



公開終了した
博物館の収蔵品



白川哲也（自由民主党・日本維新の会）

一般公開を終了した町田市立博物館の収蔵品にかか

文化スポーツ振興部長 費用の総額及びその内訳は。

文化スポーツ振興部長 25年度費用は合計約3390万円、19から25年度の費用は、合計約2億2930万円です。

文化スポーツ振興部長 施設総合管理業務委託については清掃の頻度を減らすなど仕様の見直し等を行っています。

文化スポーツ振興部長 施設総合管理業務委託については清掃の頻度を減らすなど仕様の見直し等を行っています。

文化スポーツ振興部長 施設総合管理業務委託については清掃の頻度を減らすなど仕様の見直し等を行っています。



笑顔あふれる
町田を目指して



熊沢あや（自由民主党・日本維新の会）

新生児用クベースを救急車へ搭載できないか。

市民病院事務部長 当院医師が受入れ可能と判断し、医師が同乗し、救急救命士が搬送できる場合には、対応可能な事例と考えていますので、今後検討していきます。

中学校の標準服について、統一化を含め検討ができるか。

学校教育部長 26年度は、最新の価格などの調査を実施

学校教育部長 26年度は、最新の価格などの調査を実施

学校教育部長 26年度は、最新の価格などの調査を実施



木曾山崎施設
やまゆり号保存



森本せいや（まちだみらい）

公共施設再編は、単なる施設の存廃ではなく、市の永続的な発展、新たな取組につながるものであるべきだ。

市長 複合化や多機能化は従来の形では生み出せなかった新たな価値を創造する大きなチャンスでもあります。

「やまゆり号」は、町田市の福祉政策の象徴である。施設の取壊し後も保存すべき。

地域福祉部長 市としても、引き続き保存していきたい。

引き続き保存していきたい。



せりがや会館／
忠生スポ公園



小野りゅうじ（まちだみらい）

事務所を所有している福祉団体にオフィスのシェアによる家賃折半の提案をして、移転先を探している団体と、マッチングを行ってはどうか。

地域福祉部長 議員ご紹介の方法は、移転先を探す手段として大変有効であると認識しており、こうした方法も含め、利用団体の移転先の確保に向けて支援していきたい。

公園の駐車場増設を求

公園の駐車場増設を求

公園の駐車場増設を求

公園の駐車場増設を求



ごみ行政への中
東情勢の影響は



佐藤伸一（自由民主党・日本維新の会）

中東情勢緊迫化による収集・処理業務への影響は。

環境資源部長 当面、市民生活に影響が出ることはありません。

ごみ袋の原材料となるナフサ不足の影響は。

環境資源部長 現時点では原材料不足の影響はありません。

収集・処理コストが大

収集・処理コストが大

用語の解説 本文中の青文字の解説です

防災キャビネット

地震時にエレベーター内に閉じ込められた方が健康状態を損なうことなく、救出を待つことができるようにするために非常用防災用品を収納するもの。

美化推進重点区域

町田市では、道路等喫煙禁止区域とあわせて、ポイ捨てによる環境の悪化や路上喫煙による事故の発生のおそれが特に大きい、町田駅周辺、鶴川駅周辺、成瀬駅周辺、多摩境駅周辺、南町田グランベリーパーク駅周辺の5地区について、指定している。

母乳バンク

ドナーより寄付された母乳を、「ドナーミルク」として早産、1,500グラム未満の低体重で生まれた赤ちゃん等に提供する仕組みのこと。

クベース

閉鎖式保育器（クベース）は、主に未熟性の強い新生児の管理に用いられる。そのほか、主に成熟児や外科的処置などの多い新生児の管理に用いられる開放式保育器（オープンクベース）などの種類がある。

本会議の代表質疑から

本定例会では、条例・その他の議案、予算、施政方針について各会派の代表質疑を行いました。代表質疑及び個人質疑は一括して各会派の持ち時間内で行い、大会派順に発言をします。持ち時間は各会派の人数等によって決まり、各会派の持ち時間及び発言順序は以下のとおりです。

まちだみらい	60分
選ばれる町田をつくる会	55分
自由民主党・日本維新の会	55分
公明党	50分
日本共産党	45分
無所属	45分



〈録画中継ページ〉

選ばれる町田をつくる会 若林章喜

問 新たな学校づくりに関して、学校統合に伴う通学の負担軽減についての方向性は。

市長 学校統合に伴う通学等に関する基本方針に基づき、公共交通機関の活用、スクールバス等の導入や中学校の自転車通学など、負担軽減策の検討を進めてまいります。

問 忠生スポーツ公園について峠谷地区・旧埋立地地区のコンセプトと今後の進め方を問う。

市長 様々な世代が憩い、体力づくりもできる広場というコンセプトに基づき、複数のスポーツ専用グラウンドやイベントスペースなどを整備予定でございます。今後の進め方についてでございますが、安全対策工事を行うとともに、

公園の設計も進めてまいります。その後、整備工事を行った上で、32年度のオープンを目指してまいります。引き続き、地域の皆様と丁寧なコミュニケーションを重ねながら、取組を進めてまいります。

問 20代の若者転出超過の課題について市長の考えは。

市長 町田市での挑戦の経験が、若い世代の人生を豊かにし、これからもこの町で暮らし続けたいという深い愛着へとつながるよう、力強く取組を推進してまいります。

問 持続可能な地域コミュニティの実現に向けての取組を問う。

市長 今後、町内会・自治会活動のデジタル化支援、地域活用型学校の推進、地域活動サポートオフィスによるコーディネート情報交換会などの取組を進めてまいります。

公明党 松葉ひろみ

問 29年4月開校を目指す「(仮称)町田市学びの多様化学学校」の、不登校支援の中核としての役割は。

市長 相談時には、最適な学びの場を検討し、他の機関へつなぎます。校内教育支援センター等、様々な学びの場の選択を支援いたします。得られた知見について、研修等を通じ全ての市立小中学校に共有し、活用してまいります。

問 実効性ある「客引き防止条例」制定に向けた今後の取組は。

市長 規制対象や罰則規定は、意識調査を踏まえ検討してまいります。あわせて、協議会などの皆様と合意形成を図ってまいります。パトロールなど、誰もが心から楽しむことができる魅力ある中心市街地を構築してまいります。

問 「町田木曽山崎パラアリーナ」の整備を、共生社会の理解促進や周知啓発にどのようにつなげていくのか。

市長 障がい者と健常者が共に利用し交流することで、障がいへの理解を深めることを目指してまいります。本施設をバリアフリー化を牽引する象徴と位置づけ、共生社会実現の拠点としてまいります。

問 市民病院への救急科設置による経営健全化への具体的効果や、がん拠点病院等高度医療構想は。

市長 救急搬送からの入院受入れ件数を増やすことで、事業収益の増加を図り、経営の健全化につなげてまいります。将来的には、がん拠点病院や、より高度な救急医療にも目を向けてまいります。

無所属 松岡みゆき

問 救急救命士と地域医療連携の強化の取組を問う。

市長 救急救命士につきましては、1名採用いたしました。市民病院で手術や高度な専門治療を終えた方などについて、協定締結病院等へ転院搬送を行ってまいります。

問 学校統合の進む中、廃校の体育館を避難施設として活用するのか。避難施設は足りているのか。検証を問う。

市長 多摩東部直下地震の被害想定において、市全体で最大3万8941人が避難するとされており、40年度までの学校統合の工事期間中及び閉校後においても、想定している全ての避難者の受入れスペースがあることを確認しております。学校跡地の活用に関する基本的な考え方に基づき、校舎等の既存施設は原則解体するとしております。

問 市の営繕業務で公共建築物の事務手続で、オンラインで各種申請や資料共有、現場での図面確認を可能にする「施工管理アプリ」を都内26市初で運用開始した内容は。

市長 紙の書類手続や窓口での対面提出の負担軽減に加え、オンライン上での案件の一元管理、進捗の可視化等を図ることが可能となります。

問 学校統合で、歩道の無い生活道路を、車がスピード違反で運転して子供達が危険。生活道路の安全対策を問う。

道路部長 26年9月1日の道交法施行令改正により中央線のない狭い生活道路にて最高速度が原則時速30キロメートルに引き下げられ、安全性が向上すると認識しています。

まちだみらい 今村るか

問 新たな学校づくりについて、第1期の総括を伺い、今後どのように進められ、また統合により通学距離が長くなる児童生徒の負担軽減の取組を伺います。

市長 第1期の総括は今後適切に行うものと考えております。引き続き、第2期の計画を推進してまいります。スクールバス等の導入や、様々な面から負担軽減策の検討を進めてまいります。

問 激甚化・頻発化する災害に実効性のある地域防災計画が必要。学校統合中や閉校後の避難場所確保と要配慮者対応についても伺います。

市長 過去の課題やニーズを分析し、実効性の高い計画としてまいります。避難者の

スペースは引き続き確保し、実情に合った支援ができるよう見直しを進めてまいります。

不安定な世界状況下で 急速、的確に対応する財政的な考えを問う。

市長 今後も財源の確保に努め、必要に応じて財政調整基金を活用することで機動的な対応を図ってまいります。

問 多岐にわたる課題への対応にあたり、市民目線・現場の声と、分野横断的な施策で相乗効果を生み出すこと、俯瞰的な視点で新たな発想が市長には求められている。決意を伺います。

市長 地域、民間、行政が力を合わせ、それぞれの強みを生かしながら町田ワンチームで取り組み、市民が誇りを持って住み続けられる夢のある町を実現してまいります。

問 町田駅周辺の開発によって市長が思い描く中心市街地の未来と、その実現に向けた投資の考え方は。また、新たな基金の設置に関連し、開発全体の事業費や市の歳出規模の見通しはあるか。

市長 思い描いているのは、新たな文化やビジネスが絶えず間なく生まれる持続可能な稼げる町です。実現に当たって、投資したくなる仕掛けを生み出す公共投資が不可欠と考えております。事業費や歳出規模の見通しは適切に算出してまいります。相当規模の投資になることが見込まれます。

問 「新しい里山づくり」に向けた市長の思いは。また、今後具体的にどのような取組を進めていくのか。

市長 町田の里山を将来にわたって持続可能な形で保全していきたいと考えております。産学官連携による共同研究、地域や民間事業者の皆様と連携して、コンテンツづくりに取り組んでまいります。

問 市民病院の救急医療体制について、市長の課題認識は。また救急科の必要性や期待される効果、今後の展望は。

市長 救急車応需率を向上させることが喫緊の課題であると認識しております。地域の中核病院として、救急医療体制の強化に向けた取組を全力を挙げて進めてまいります。

問 市民の声をさらに幅広く聞く機会として「市民討議会」についての市長の考えは。

市長 市民討議会を通じて、市が目指すべき未来の姿や様々な課題の解決に反映していきたいと考えております。

インターネット中継もご覧ください

本会議、常任委員会や特別委員会の様子を市議会ホームページで、ライブ中継、録画配信を行っています。

▶スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただくことができます。

市議会の会議録の閲覧と検索ができます

質問や答弁の詳細は、会議録で全文を確認することができます。

▶市議会ホームページ、市庁舎3階の議会図書室等でご覧いただくことができます。(本定例会の会議録は次回定例会開催前までに完成予定です)

委員会の審査から

町田市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

委員会録画中継は
こちらから



文教社会

6月10日に議案5件、
請願1件の審査を行いました。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『新たな学校づくり推進事業』

委員 小山田・小山田南地区の小学校区は請願が採択された経緯もあって、様々な統合についての意見が寄せられている。その後の経過について改めて確認したい。

新たな学校づくり推進課長 請願の趣旨として、小山田周辺まちづくりの構想であったりとか、小山田地域で計画されている道路整備の進行状況、また市と地元で進めているまちづくりを考慮した上で、統合時期の見直しを視野に入れ、教育委員会だけではなく、長期的な視点で関係部署と地元での議論をすることが求め

られているということを受け止めています。このことからこれまで計6回、市教育委員会だけではなくて市長部局の関係部署を集めて、地域の方々と意見交換会を重ねてきているところです。26年5月に一度行い、また6月に一度行う予定としています。

委員 統合されたときの児童生徒ないし保護者の声はどう拾っていくつもりか。

新たな学校づくり推進課長 統合する際に影響を受ける児童または未就学児からの意見をいただくことが必要だと考えています。現時点において在籍する児童、保護者のほか、未就学児の保護者や地域の方々を対象に、幼稚園や保育園、また町内会・自治会における回覧や広報まちだ、ホームページを通じて、新たな学校に求める施設機能や設備に関して意見募集を行い、寄せられた意見を基に検討会で検討を重ねて、建設の基本計画に反映していきたい。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『待機児童解消対策事業』

委員 90名の待機児童が出ている現状で、小規模保育所1園の整備だけで足りているのか。さらなる開所の計画などはあるのか。

子育て推進課長 保育の受皿の確保については施設整備に加えて、既存施設を活用して引き続き行っていく予定です。28年4月の開所に向けて認可保育所の整備についても検討を進めているところです。

総務

6月11日に議案5件の審査を行いました。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『町田駅周辺客引き等防犯事業』

委員 商店街関係者の方からもお話を聞くというところで、これから調査をした上でどうするかという段階だと思うが、丁寧に聞き取ることに關して、どう考えているのか。

市民生活安全課長 客引き行為を減らすためには、その町に住む方とか働く方、またその町に来る方、その方々が客引きをしない、させない、利用しない、許さない、そのような思いを持たなければ、幾ら条例をつくっても、それはかなうことはないのかと思っ

ています。どこまでを規制するのか、どういうものであればアウトということにするのか。そういうところも含めてご意見を聞きながら、そして町全体で客引きにノーと言えるような思いが持てるようにしていくことが大事だと思っていますので、そのように取り組んでいきたいと考えているところです。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備事業(債務負担行為の設定)』

委員 PFIとか資金の平準化といったものもあったが、ECIのとき、総工費の削減効果とか予算の平準化はどういった形になるのか。

公共施設再編担当課長 PFIのような平準化というよりは、契約の手法として、前金払いから完了までの中間前払いなんていう形で、財源としては市債、地方債を充てて、極力一般財源を圧縮していくことを想定しています。

委員 プロポーザルも相当期間がないと一歩踏み出せないという声も事業者から聞いたりするがどうか。

公共施設再編担当課長 PFIが中止になってからサウンディング調査を2回ほど繰り返しました。どういう形がいいかということ、ECIという判断をしてきた経過があります。経過の中で事業者には、繰り返しサウンディングをして、参画意欲があるというのを聞いていますので、見込んでいっているとおりになるのではないかと考えています。

建設

6月10日に議案6件、
請願3件の審査を行いました。

町田市中心市街地開発推進基金条例

委員 特に第6条について、具体的にはどのようなものを指すのか、使えるのか。

都市政策課担当課長 公共施設の整備については、駅前へのペDESTリアンデッキとか道路整備を想定しています。

委員 バスターミナルの関係、あるいはD地区に想定される施設等、もう少しその内容、範疇を広げた場合、道路、ペDESTリアンデッキ以外にも使うことができるかと考えているのか。

都市政策課担当課長 D地区の集客施設に例えますと、運営を含めて、まだ決まっていな部分もありますので、そういった部分を踏まえて適切

に基金を使っていくかどうかを見定めていきたいと考えています。バスセンターについては、別で多摩都市モノレールの基金もあります。駅前広場に関しての整備に充てられることになっていきますので、そちらとの兼ね合いも含めて、使い方を検討していきたい。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『中心市街地まちづくり推進事業』

委員 基金も創設するといふ話だったが、国や都の財源はどの程度見込めるのか。

都市政策課担当課長 都市再開発法に基づく市街地再開発事業の実施になれば都市計画手法を用いたまちづくりと一緒に考えていけたらと思っ

ています。D地区のほうは目標としているのは再開発事業でよいのか、西側と北側のまちづくりについては都市計画事業になるのか。

都市政策課担当課長 D地区については、市街地再開発事業によるまちづくりを目指しています。北側と西側については、地権者の意向による計画ですが、そういった都市計画手法を用いたまちづくりと一緒に考えていけたらと思っ

健康福祉

6月11日に議案3件の審査を行いました。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『障がい者歯科診療所運営事業』

委員 機器の購入によって患者にはどのようなメリットがあるのか。

保健総務課長 今まで、診療所では対応できない治療が必要なのは、大きい病院を紹介するという形になっていました。患者様にとっては痛みや、かめなという不都合を抱えながらの生活を先延ばしするという形になり、ご家族様には改めて紹介先の病院の予約を取っていただく、もしくはそちらに移動していただくという、時間的にも精神的にもご負担があったかと思ひます。

委員 最高裁による取消し

紹介する件数が減りますので、診療所で治療ができるようになります。こういったご負担が解消される部分がメリットになるかと考えています。

委員 特殊な麻酔機器はどんな機器なのか教えてほしい。

保健総務課長 静脈内麻酔を用いた治療というのが2種類あり、意識下鎮静という、受け答えはできる状態のもの、今回導入します眠りに近い状態で治療ができるというものになりますので、今までよりも、より安全に対応ができる機器という形になります。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『生活保護費の追加給付事業』

委員 生活保護世帯に対する周知は国が中心に対応していくことになっています。その上で、市としてはホームページとか広報まちだでそういった周知をしていくことを考えています。

判決から1年たっている。速やかな支給が求められていると思うが、受給世帯は申出不要、廃止世帯は当時の世帯主からの申出によるということだが、どう周知していくのか。

生活援護課長 国からは、廃止世帯に対しての周知については、過去の受給歴を知られたくない方が存在することが懸念されるため慎重な判断が求められること、また、世帯の居住の確認のためにマイナンバーによる情報取得をすることは認められていないということの説明がありましたので、生活保護世帯に対する周知は国が中心に対応していくことになっています。その上で、市としてはホームページとか広報まちだでそういった周知をしていくことを考えています。

★令和8年（2026年）第2回定例会議案審議結果一覧表

※佐藤和彦議員は議長のため、可否同数の場合に議長裁決により議決します。

○ 賛成 × 反対 - 棄権 空欄は欠席			まちだみらい (7人)							選ばれる町田 をつくる会 (6人)						自由民主党・ 日本維新の会 (6人)					公明党 (5人)					日本共産党 (4人)				無所属 (4人)				諸派				議決 月日		
議案 番号	議 案 名	議決 結果	今村が	伊 ス レ ス ツ バ エ	渡 辺 さ と し	小 野 り ゆ つ じ	佐 藤 和 彦 (議長)	笹 倉 み ど り	森 本 せ い や	若 林 草 喜	前 田 げ ん き	ばん ない さ き	白 川 哲 也	渡 辺 厳 太 郎	岩 瀬 和 子	加 藤 眞 彦	小 沢 タ ケ ル	お ぜ き 重 太 郎	三 遊 亭 らん 丈	熊 沢 あ や り	佐 藤 伸 一 郎	松 菜 ひろ み	森 じ ゆん 子	馬 部 ゆ き ま さ	小 野 寺 ま な ぶ	お ん じ よ う 由 久	細 野 龍 子	大 野 ま こ と	田 中 み ほ	殿 村 健 一	松 岡 み ゆ き	は せ が わ 圭 亮	新 井 よ し な お	吉 田 つ と む	う の つ の ぶ こ	矢 口 ま ゆ	友 井 和 彦		ふ じ た 学	
★ 市 長 提 出 議 案																																								
第49号	令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○																				×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	6月29日	
	令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)に対する修正案	否 決	×	×	×	×																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	6月29日	
第50号	令和8年度(2026年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第51号	令和8年度(2026年度)町田市下水道事業会計補正予算(第1号)	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第52号	町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第53号	町田市減債基金条例	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第54号	町田市市税条例の一部を改正する条例	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第55号	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○																				×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第56号	町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○																				×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第57号	町田市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第58号	町田市中心市街地開発推進基金条例	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○																				×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第59号	町田市下水道条例の一部を改正する条例	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○																				×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	6月29日	
第60号	町田市中学校給食センター条例の一部を改正する条例	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第61号	町田市民病院使用条例の一部を改正する条例	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○																				×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第62号	町田市教育センター解体工事請負契約	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第63号	鶴川駅北口広場バスシェルター建築工事(3期) 請負契約の変更契約	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第64号	金森五丁目地内外雨水管路改修工事請負契約の変更契約	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第65号	土地の買入れについて((仮称)大戸広場(町田都市計画緑地事業第35号相原大谷戸緑地))	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月1日	
報告第2号	令和7年度(2025年度)町田市一般会計補正予算(専決第3号)の専決処分の承認を求めることについて	承 認 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月1日	
報告第3号	令和7年度(2025年度)町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計補正予算(専決第1号)の専決処分の承認を求めることについて	承 認 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月1日	
報告第4号	町田市市税条例の一部を改正する条例に関する専決処分の承認を求めることについて	承 認 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月1日	
報告第5号	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承 認 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月1日	
★ 議 員 提 出 議 案																																								
第5号	住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第6号	巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第7号	すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第8号	ドナーミルクの利用拡大を求める意見書	可 決 (全員一致)	○	○	○	○																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日	
第9号	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○																				○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6月29日	
第10号	物価高騰・資材不足から暮らしと営業を守るための緊急対策を求める意見書	可 決 (賛成多数)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6月29日	
第11号	学習指導要領の改訂に伴い、性教育の充実を求める意見書	否 決	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6月29日		
第12号	インテリジェンス機関への民主的統制強化を求める意見書	否 決	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6月29日		
★ 請 願																																								
第8号	野津田公園スケートパークの予算の執行を一時とめて、市民と話し合う場所を求める請願	継続審査	継続審査となりました。																																					6月29日
第9号	日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める意見書提出についての請願	不採択	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	6月9日		
第10号	一人一人の子どもの命の重みを配慮して成瀬小学校正門前の「手押し信号」の交通安全状況の調査を町田市議会(文教社会常任委員会)と市教育委員会事務局に求める請願	不採択	×	×	×	×	×																		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	6月29日	
第11号	野津田公園スポーツ施設の建設(計画)の目的と実態を明らかにすることを求める請願	不採択	×	×	×	×	×																		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	6月29日	
第12号	町田市立野津田公園の上の原に建設された「バス転回広場」内の、<鎌倉古道>についての説明板>の建立経緯、及び上の原の、推定鎌倉古道の上部のアスファルト敷設工事についての検証を求める請願	不採択	×	×	×	×	×																		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	6月29日
第13号	東京都後期高齢者医療広域連合に「資格確認書を後期高齢者医療制度に加入者全員に一律交付するよう求める意見書提出」請願	不採択	×	×	×	×																			×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	6月9日	
第14号	国に「患者にOTC類似薬の追加負担の実施をやめるよう意見書提出を求める」請願	不採択	×	○	○	○																			○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6月9日	

詳細は、
「町田市議会議員の政治活動に
おける虚礼廃止に関する要綱」
をご覧ください



≪議会関係例規集ページ≫

議員の寄附行為
について

市議会では、「町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する決議」に基づき、公職選挙法の規定にかかわらず、すべてにわたり清潔な政治活動を行うことにより市民の信託に応えるため、虚礼廃止に関する要綱を制定しています。

公職選挙法では、政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは時期や理由を問わず禁止しています。また、有権者が政治家に対し寄附を求めることも禁止しています。お祭りや地域の行事等への寄附や飲食物等の差し入れなども該当します。

このことから、会費が必要とされる催し物や実費が伴う行事等にご案内いただく場合は、会費(他の参加者と同額)を必ず明示して議員にご通知くださるよう、ご協力をお願いいたします。

相模原市議会議員と
議員交流会を開催しました



JAXA相模原
キャンパスでの
施設見学の様子

7月14日に町田、相模原両市の議員による議員交流会が行われました。当日は、相模原市立博物館にてプラネタリウムの観覧と施設の概要説明を受けた後、JAXA相模原キャンパスを見学し、質疑応答を行いました。議員交流会を通し、両地域をさらに発展させるため、議員相互の情報交換とともに、活発な意見交換が行われました。

● ● ● 委員会の行政視察 ● ● ●

各委員会は、情報を収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政に反映させるため、先進地等を視察して、特定事件について調査をします。5つの委員会が次のとおり視察に行きました。

総務常任委員会			■日程:5月11日～5月13日
視察先	視察項目	視察内容	
米原市 (滋賀県)	土砂災害への対応と復旧状況 および課題等について	土砂災害への対応について(避難所や対策本部の設置 等)、復旧状況、今後の課題等について調査しました。	
京都市 (京都府)	京都市メディア支援センター について	施設の設立経緯、役割、種々情報提供方法、撮影同行、支 援作品のPR協力等について調査しました。	
豊中市 (大阪府)	庄内コラボセンターについて	施設を整備した経緯、課題や工夫した点、効果、整備後の 課題等について調査しました。	
健康福祉常任委員会			■日程:5月13日～5月15日
視察先	視察項目	視察内容	
札幌市 (北海道)	農福連携について	連携自治体と農福連携実施地域との関り、成果と課題、 今後の取組等について調査しました。	
	地域スーパーを核とした地域 包括ケアシステムについて	事業概要及び事業費、官民連携、成果と課題、今後の取 組等について調査しました。	
千歳市 (北海道)	動物愛護管理センター(あい まるさっぼろ)について	設置経緯、事業の成果と実績、課題、他機関との連携、今 後の取組等について調査しました。	
	こども家庭センター(母子保 健機能)について	事業の概要、成果及び課題、他機関との連携、今後の取 組等について調査しました。	
文教社会常任委員会			■日程:5月12日～5月14日
視察先	視察項目	視察内容	
浜松市 (静岡県)	多文化共生推進事業について	事業の経緯や取組の概要、外国人住民への情報提供の 方法・工夫等について調査しました。	
東大阪市 (大阪府)	東大阪市文化創造館について	施設概要及び特色、整備費用、PFI方式での運営におけ るメリットやデメリット等について調査しました。	
三原市 (広島県)	三原市児童館「ラフラフ」整備 ・運営事業について	開設の経緯や施設概要・特色、立ち上げから運営の手伝 い等の中高生の関わり方等について調査しました。	
建設常任委員会			■日程:5月11日～5月13日
視察先	視察項目	視察内容	
富士市 (静岡県)	ウォーターPPPについて	事業概要及び導入背景、市民からの反応や評価、今後の 事業展開等について調査しました。	
富山市 (富山県)	富山市エコタウンについて	事業概要や各施設の特徴、市民からの反応及び成果、今 後の取組等について調査しました。	
	自動運転実証実験について	事業の経緯及び概要、事業実施による成果と課題、今後 の取組等について調査しました。	
議会運営委員会			■日程:7月8日～7月9日
視察先	視察項目	視察内容	
横浜市 (神奈川県)	横浜市請願電子申請・届出シ ステムについて	請願電子申請・届出システムの導入経緯や実績、システ ムの申請方法等の調査をしました。また、横浜市議会基 本条例については、議決事件の範囲や、制定した議員提 案による政策的な条例等の調査をしました。	
	横浜市議会基本条例に基づく 政策立案等の取組について	日曜議会、夜間議会の導入経緯や実績、今後の課題等 について調査しました。	
大東市 (大阪府)	日曜議会、夜間議会について	大阪市会基本条例の制定経緯等について、また、通年議 会については試行結果や課題等の調査をしました。	
大阪市 (大阪府)	大阪市会基本条例について		

～常任委員会の活動状況～

町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会で出された意見については、議会活動に反映させていただきます。7月までに開催した懇談会は次のとおりです。

日付	団体名	内容	対応した常任委員会
6月22日	町田リス園保護者の集い	保護者が現在抱えている不安や思いについて	健康福祉
6月23日	町田市障がい児者自立支援研究・研修会	学齢前・学齢期障がい児の就園および就学について 等	文教社会
6月23日	町田市法人立保育園協会	保育園が抱える課題について 等	文教社会
6月25日	まちだ冒険遊び場をつなぐ会	町田市内の冒険遊び場活動の現状と継続について 等	文教社会
6月25日	町田市学童保育を考える会	町田市の学童保育クラブの現状と今後の在り方について 等	文教社会

6										月
29	19	18	17	16	15	11	10	9	2	1
月	金	木	水	火	月	木	水	火	火	月
議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会
7	5	30	37	13	58	33	14	2	6	傍聴者数:205名

◎6月定例会の日程

議員提出議案
意見書 (要旨)

本定例会では意見書 6 件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

「まちだみらい」会派代表者の交代
就任 今村 るか
辞任 森本 せいや
(5月25日付)

会派の動き

住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書
巨大災害発生に対する対応には、自治体や地域住民、民間団体、ボランティアとの連携強化が不可欠である。よって、次の事項を速やかに推進することを強く要望する。①低所得者や子育て世帯への新たな住宅手当制度の創設。家賃補助の対象拡大と補助額引上げ。②居住支援法人等の活動支援、居住サポート住宅の整備、孤独死への不安を解消するガイドラインの周知。③高齢者の健康管理や遠隔見守りサービス普及に向け、IoT技術等の相談体制の整備。④公営住宅等の空き住戸の家賃減額や所得要件の緩和。⑤生活保護の住宅扶助基準額を家賃相場に見合う水準に引き上げる。
内閣総理大臣ほか6件宛て

巨大災害発生に対する対応には、自治体や地域住民、民間団体、ボランティアとの連携強化が不可欠である。よって、次の事項を速やかに推進することを強く要望する。①被災時の支援体制を強化し、迅速な被災地支援の仕組みを確立すること。②各地方自治体と連携し、災害時の情報共有や各分野への協働体制を平時から整備・確認すること。③防災庁においては、自治体・支援団体との連携を強化し、災害対応の一元化・迅速化を図ること。④国の防災施策や制度変更に際しては、自治体への十分な説明と必要な人的・財政的支援を行うこと。
内閣総理大臣ほか5件宛て

すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書
家族の介護や世話を担うケアラーの負担は深刻化し、心身の疲弊や孤立、経済的困窮・学業への影響など、生活に大きな支障を及ぼしている。ヤングケアラーへの支援は法制化された一方、ワーキングケアラーやダブルケアラーなどを包含する支援制度は十分に整備されていない。よって国に対し、以下について速やかに取り組むよう強く求める。①全てのケアラーを対象にした支援の基本理念の明確化。②分野横断を可能とする法的枠組みの整備。③自治体の取組を支えるための財政措置。④普及啓発の推進。
内閣総理大臣ほか6件宛て

ドナーミルクの利用拡大を求める意見書
我が国では、2500グラム未満の低出生体重児が約10人に1人生まれており、特に1500グラム未満の極低出生体重児には、感染症や合併症予防のため、母乳を与えることが重要である。十分な母乳が得られない場合、ドナーミルクの提供は極めて重要であるが、法的位置づけが明確でなく、費用等を実質的に医療機関が負担していること、ドナー登録体制の拡充が十分でないことが課題となっている。よって国に対し、ドナーミルクの法的位置づけの明確化、母乳バンクへの支援、ドナー登録の周知拡大及び普及啓発を推進し、安定供給体制を整備するよう求める。
内閣総理大臣ほか4件宛て

核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書
緊迫する国際情勢の中、核威嚇の懸念が高まっている。核兵器禁止条約は、核の非人道性を位置づける重要な枠組みである。26年末には初の再検討会議が開催され、重要な節目を迎える。唯一の戦争被爆国である我が国は、被爆の実相を国際社会と共有し、非人道性への理解を広げる歴史的責務がある。しかし、現時点で日本は条約を締結しておらず、議論への関与が十分とは言えない。国会議へのオブザーバー参加は明確な意思を示す重要な一歩となる。よって、政府に対し、国会議へ参加し、国際的議論に積極的に関与することを強く求める。
内閣総理大臣ほか4件宛て

物価高騰・資材不足から暮らしと営業を守るための緊急対策を求める意見書
国民の暮らしと営業を守るため、次の事項を強く求める。①エネルギー供給危機への緊急措置として、国民生活に不可欠な分野を対象に原油及び石油製品の優先供給、資材価格の高騰から医療機関等の経営を守るため、公的補助の拡充を行うこと。交通・物流分野の燃料調達を確保し、コスト増への支援を実施すること。②コストや金利上昇から中小企業と雇用を守るため、持続化給付金、雇用調整助成金等の支援制度等を実施すること。③原油及び石油製品の需給状況を正確に把握し、供給と価格の安定に責任を果たすこと。
内閣総理大臣ほか8件宛て

「町田市議会だより」はアプリ等でもご覧いただけます

「町田市議会だより」は、「マチイロ」、「TAMA ebooks」で電子書籍版を掲載しています。また、市議会ホームページ上で、PDF形式もご覧いただけます。右の市議会ホームページ内のリンクよりご覧ください。



▲市議会だよりのページ